

日時:令和5年9月23日(土・祝)10:00~12:30
会場:信州大学松本キャンパス 旭総合研究棟AB講義室

対話型アート鑑賞

医学教育を観察と対話から



獨協医科大学 非常勤講師
ミルキク代表 森永康平

Copyright © 2023 ミルキク Kohai Morinaga All rights reserved

1

アート鑑賞を用いた数々の授業プログラム

期待できる能力アップ	VTSプログラムを導入している医学大学
①臨床での観察力/診断力 clinical observation/diagnosis	Harvard Medical School UT Health Science Center, San Antonio UT Southwestern
②共感力 empathy	Baylor College of Medicine Perelman School of Medicine Rush Medical College University of Cincinnati
③組織運営力/ コミュニケーション力 team building/communication	Perelman School of Medicine Baylor College of Medicine Columbia University Vagelos College of Physicians and Surgeons, Weill Cornell Medical College
④レジリエンス、燃え尽き防止 promoting wellness/preventing burnout	University of Buffalo Rush Medical College UT Southwestern
⑤文化的感受性 cultural sensitivity	Icahn School of Medicine University of Cincinnati

Mukunda N:Med Educ Online. 2019;24(1):1558657.を基に作成

Copyright © 2023 ミルキク Kohai Morinaga All rights reserved

2

私が現場で感じた課題

◆ 国語力 (言語力)

- ✓カルテ・プレゼンが単語の羅列
- ✓結論に至る根拠が希薄or不在
- ✓文章として成立していない
- ✓自分で考えられない



Copyright © 2023 ミルキク Kohai Morinaga All rights reserved

3

◆ 観察 (への興味)

- ✓パソコンやメモ帳に眼が釘付け
- ✓服装・表情・仕草など見落としている (後ろから見ていてもどかしい)



言語力の課題は大きい

- ◆ 内容の連鎖的変化 (横道にそれる)
- ◆ 根拠の未提示
- ◆ 察し合いの重要視、強要
- ◆ 単語の羅列
- ◆ 共通認識の不十分な言葉の使用 (難解、解釈が別れる、外来語など)

◆ 曖昧な表現

◆ 主語の未提示

◆ 事実と解釈の混合

教員研修基礎1 (つくば言語技術研究所) 運営版資料より一部改変

Copyright © 2023 ミルキク Kohai Morinaga All rights reserved

4

対話の場の可能性とは？

- スキル (観察力・言語力) の醸成場 (方法) として
- 個<集団から新しい発想/解決策を生み出す場として
- 予測不可能で正解のみえない現代社会で生きていくために、自分の足元を見つめ直し、英気を養い、互いを認め合う日々の憩いや癒やし、お互いの承認の場として。



皆が見てるもの、考えているものが
バラバラでは実現しない

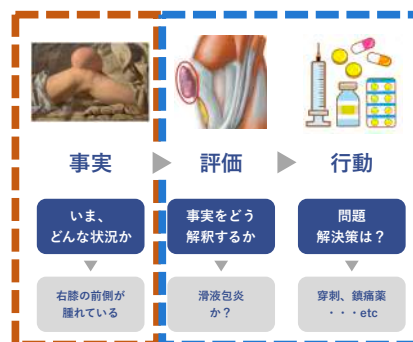
ルール・秩序が必要

Copyright © 2023 ミルキク Kohai Morinaga All rights reserved

5

問題解決の順番 <医療なら？>

重要なのは
どの過程？



Copyright © 2023 ミルキク Kohai Morinaga All rights reserved

6

Visual literacy=観る技・視覚判断能力 臨床現場でしか鍛えられない？



Vogt, Stine, and Svein Magnussen. "Expertise in pictorial perception: eye-movement patterns and visual memory in artists and laymen." Perception 36.1 (2007): 91-100.

Copyright © 2023 ミルキク Kohel Morinaga All rights reserved

7

対話型鑑賞



1980年代にニューヨーク近代美術館(MoMA)で生まれた
(VTSという名前でも知られる)。

作品についての情報や解釈を専門家や教員が一方向的に伝えるのではなく、鑑賞者自身の思いを尊重し、グループでの対話を通して作品を味わっていく鑑賞法。

観察力・批判的思考力・言語能力・コミュニケーション能力
といった総合的な「生きる力」の育成につながる手法として、他教科での応用や企業研修への導入が進んでいる。

Copyright © 2023 ミルキク Kohel Morinaga All rights reserved

8

対話型作品鑑賞を経験することで起こる思考力の変化

観察	数少ないかつ単純な観察から、 より多くの詳細かつ精密な観察に変化。
推論	観察から何らかの解釈を導き出せるようになる。
根拠	観察に基づいて、自らの推論を裏付けられるようになる。
仮説	複数の可能性を検討できる。
推敲	すでに言及した事柄に立ち戻り、さらなる詳細を付け加えていける。
再考	必要ならば自分の意見に訂正を加えることができる。

福のり子先生のご厚意による

国語力の育成に大きなヒントを持っているのではないだろうか？

Copyright © 2023 ミルキク Kohel Morinaga All rights reserved

9

対話型鑑賞の手引き

- 知識を披露する場ではありません
- 相手の発言にはしっかり耳を傾けよう
- 本日この場で何に見て、気づき、考えたか、
対話で生まれた意味付を味わいましょう
- 鑑賞での発言内容は記録、報告はしません
- 発言に対して評価することはありません

➤ **思いっきり発言と対話を楽しんでください！！**

Copyright © 2023 ミルキク Kohel Morinaga All rights reserved

10

絵の細部に観察が進み、**多くの情報を認知**出来た。

情報を**事実と解釈/想像を色分け**して記述できた。

人物の状況に歩み寄り、**感情を想像**出来た。

引き出した豊富な情報に基づき、各学生が独自の
(論理的にも矛盾のない) **物語を創造**できた。



診療にも欠かせない能力の醸成に繋がるのでは？

Copyright © 2023 ミルキク Kohel Morinaga All rights reserved

11

対話型鑑賞のコミュニケーションデザイン

- **Safe place (気づきを尊重し安心できる場づくり)**
 - * 気づき・感じたこと・考えたことに焦点をあてる
 - * 安全性の確保：他者の発言/視点を尊重し、否定しない
(また、そこに触れたことで生じる自分の変化を大事にする)
 - * 曖昧さ/不確かさに耐える、結論を出すのを必須としない
- **Equal Topics (平等な題材/話題の選択)**
 - * 多様な参加者によって発言しやすさの差が生じないもの
(差が生じる場合は焦点の明示や解説などの工夫を要する)
- **Flexibility and mobility (柔軟性・機動性)**
 - 上記は留意しつつも、義務ではない。
 - その時々での対話の流れやニーズに合わせて柔軟な対応を楽しむ。

Copyright © 2023 ミルキク Kohel Morinaga All rights reserved

12



”対話型鑑賞”の鑑賞デザイン



- 自分が観て気づいたこと
- 対話により生まれた意味づけ



**これらが最優先・尊重される
意図された空間**



医学教育 × アートの可能性



これまでの教育、詰め込み教育ではこれからのAI社会では 容易に迅速に答えにたどり着くため差がつかない



物事を眼にしたときの自分の気づき、心の繊細な動きを無視せず感じ取り言葉にできる力。



早急な結論、過激な意見に飛びつかず
答えの出ない事態に耐え、考え続ける力。



アートをきっかけに、観る力・考える力を愉しみながら
自ら豊かに深めていく姿勢を身に付けてほしい。

ご参加ありがとうございました！
ご意見・ご感想・ご質問は↓まで

medu.mirukiku@gmail.com